

働きやすい職場づくりへ Withでつながる意義を実感

With幹事 小松佳奈子（JAM京滋・島津労組）

With京滋は2月28日に「仕事と不妊治療の両立」と「誰もが働きやすい職場づくりを支えるコミュニケーション」をテーマに開催した学習会に石倉和美氏（ポジティブトランジション代表）を講師に招き、41人が参加しました。

第1部「仕事と不妊治療の両立」では、近年の利用実績から不妊治療が一般的となっている現状や、治療期間中の負担について学び、グループワークで柔軟に取得しやすい休暇制度や清潔な休憩場所の確保、職場の理解を促す研修制度などが改善策としてあがりました。

第2部の「誰もが働きやすい職場づくりを支えるコミュニケーション」では、例えば「女性なのにすごい」「外国人なのに日本語うまい」という褒め言葉は人によっては否定的なメッセージに伝わってしまうとのことなど、無意識の内に抱く偏見や攻撃について学びました。グループワークではWith京滋の幹事が実際に職場で感じる課題を題材として、皆が活躍できる職場づくりについて議論しました。

振り返りでは、「普段自分が悩んでいることを学習会で理解してもらえて嬉しかった」、「単組に持ち帰って職場環境の改善について議論し始める」という意見が出され、Withでつながっている意義を実感しました。また学習会には、多くの男性が参加しましたが、「男性にも知ってもらうことで更に対応策が広がり、よりよい職場づくりに繋げられるように感じた」という意見も寄せられました。

講義やグループワークで学びを深め、今後も幹事の皆さんや単組活動に活かしてもらえるイベントを積極的に開催していきます。

